

和歌山だより

平成26年 4月号



CONTENTS

1. 知事メッセージ…………… P1
2. 和歌山県政トピックス…P2～P11
3. ふるさと歳時記…………… P12～P13

ゆあさ行灯アート展 (湯浅町)

和歌山だより発行7年目を迎えました。今年度も、御愛読のほどよろしくお願ひします。



外国の日本人

皆さんは1985年3月のテヘランにおけるトルコ航空機による在イラン日本人救出劇を覚えておられるでしょうか。

何故にトルコ航空機が飛んできてくれたか。もちろんエルトゥールル号事件以来のトルコの親日感情もあったでしょうが、伊藤忠商事社員としてずっとトルコにいた森永 堯(たかし)さんが前々から親友のように付き合っていたオザル首相に頼んでくれたおかげなのです。

森永さんに限らず、海外で長く暮らし、大変な苦勞を重ねて現地で尊敬されるようになっている日本人がたくさんいます。私も少しばかり海外で暮らし、海外の人たちと仕事をしてきましたから、日本でマスコミなどでともすれば流される自虐的日本像よりも、はるかに世界中で日本が好かれ、日本企業が信頼され、日本人が尊敬されているかをよく知っています。

私は、このことは、戦後60数年にわたって、日本企業や日本人が誠実に海外の人と接し、懸命に努力し、日本が平和に徹して外国と付き合いしてきたからだと思います。そのような日本人は、企業戦士の方々ばかりとは限りません。移民をしたり、結婚その他の事情でずっと長く海外で暮らす多くの日本人が立派に人生を送り、その人に対する尊敬の念ゆえに、日本人全体が愛され、尊敬されている、そんな人々を私は知っています。私が大使をしていたブルネイには、ブルネイ人の奥さんになった日本人女性が何人もおられました。多くはロンドンなどで留学中にご主人と巡り合った方ですが、ブルネイ人の社会に溶け込み、しかも皆さん大変尊敬されていました。ブルネイの人々は日本が大好きですが、その理由の一つは、このような立派な日本人の奥様方によると私は思いました。

それぞれの日本人は今日の名声を得るまでにおそらく大変なご苦勞をされたことと思います。私たち日本に残る日本人にできる事は、この事実を常に正しく認識し、敬意と感謝を送ることだと思います。今年ブラジル和歌山県人会60周年です。4月にそれを讃えるために、県民の皆さんと一緒にブラジルを訪問しようと思います。

さらに、こうして先人の努力で高まった「日本への評価」を生かして、今の我々は、もう一度世界に打って出ていこうではありませんか。和歌山の素晴らしい産品は、「日本製」という良きイメージを武器に世界で愛されるはずで、和歌山のこの美しい風景や文化は、「あこがれの日本」の一部ということで世界中の旅行者の訪問対象となるでしょう。

頑張りましょう。外国で尊敬されてきた先人たちの志を胸に。



3/19 定例記者会見にて

今月の和歌山県政トピックス

* 最近の県政の動きや県内の話題などをピックアップしてお届けします。

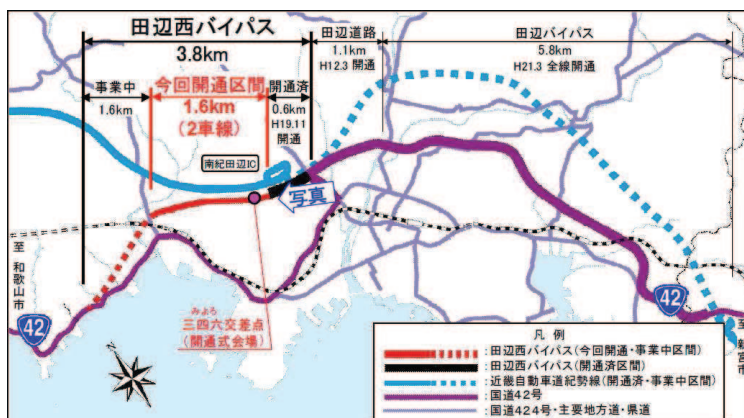
●国道42号「田辺西バイパス」が開通！！

・3月15日、近畿自動車道紀勢線南紀田辺IC近くから田辺市芳養町の県道芳養清川線までを結ぶ「田辺西バイパス」の一部1.6kmが開通し、同バイパス三四六交差点において、関係者約200人が出席して開通式典が行われました。

・式典の冒頭、真砂 充敏 田辺市長は、「田辺西バイパスの開通は、地元が長年待ち望んだ大きな事業であり、稲成町から芳養町までの開通式を挙げることを、皆様に本当に心から感謝申し上げたい。」とあいさつ、仁坂知事も、「田辺西バイパスの整備が進み、県が進めている事業と合わせて便利になると、今までになかったチャンスが広がってくる。地域発展のために活用していくことが、工事に携わってくれた方々へのお礼になると思う。」と述べました。そのほか、地元の多くの方々が参加し、くす玉開披や餅まきを行い、盛大に開通を祝いました。

・田辺西バイパスは、南紀田辺ICへのアクセス道路としての役割を担うとともに、主要幹線道路である国道42号の交通安全性の向上、交通混雑の緩和を目的とする道路で、平成9年度から国直轄事業として工事が進められてきました。

・田辺市稲成交差点から芳養交差点の国道42号は、通勤時間帯を中心に交通量が多く、慢性的な渋滞が発生するだけでなく、事故が多く発生する区間となっていました。バイパスの完成により、安全性の向上や日常生活における利便性の向上が期待されます。また、巨大地震等による津波浸水地域には、道路の法面を活用した避難路も整備されています。



●国道168号「日足道路」全線開通！！

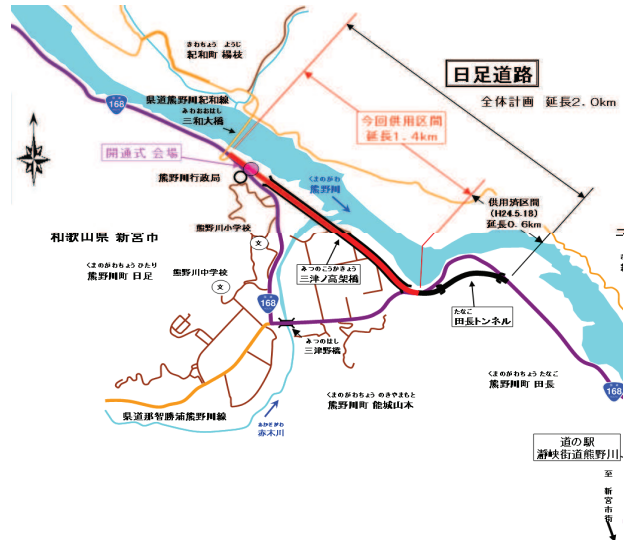
・3月22日、新宮市熊野川町日足地内において、国道168号「日足道路」が全線開通し、関係者ら約300人が出席して開通式典が行われました。今回、新宮市熊野川町能城山本から熊野川町日足間約1.4kmが完成したことにより、田長トンネルを含む全線約2.0kmの供用となりました。

・式典の冒頭、仁坂知事は、「これまで、熊野川の氾濫による浸水にたびたび見舞われており、今回の開通で水害がすべて解決できるわけではないが、少なくとも災害が起こったときに援軍を送れるようになったということだけは確実である。また、道も通りやすくなるので皆さんがそれをチャンスとして活かしていくこともできていると思う。」と挨拶しました。式典には地元の多くの方々が参加し、くす玉開披や餅まき、那智勝浦吹奏楽団の皆さんによる演奏が行われ、盛大に開通を祝いました。



・国道168号は、近畿自動車道紀勢線及び京奈和自動車道と一体となって紀伊半島の骨格を形成する地域高規格道路(五條新宮道路)に位置付けられ、重点的に整備を推進してきました。

・現道は、曲線部が多い上に直角に曲がった箇所もあり、橋梁部の幅員が狭小であるため、大型車両同士の離合が困難でした。また、熊野川の氾濫によりたびたび通行止めを余儀なくされてきましたが、新道路完成により、安全で快適な通行が可能となることはもとより、災害発生時の緊急輸送の強化が図れます。さらには、高速道路と一体となった広域ネットワーク形成の一翼を担い、観光客のアクセス向上や地場産品輸送の効率化等、地域の活性化が期待されます。



●京奈和自動車道「紀北かつらぎIC～紀の川IC」が開通！！

・3月30日、京奈和自動車道紀北東道路の紀北かつらぎIC～紀の川IC間12.9kmが開通するに当たり、紀の川IC付近において、関係者約300人が出席して開通式典が行われました。

・式典の冒頭、国土交通省近畿地方整備局の池内局長は、「地元の皆さんのおかげで、本日の開通を無事迎えることができた。今回の開通により、国道24号の交通混雑の緩和、観光振興や産業の活性化など地域の発展が期待できる。」と挨拶し、仁坂知事は、「和歌山国体までの紀北西道路の開通を目指して力を合わせて協力していきたい。」と述べました。そのほか、地元の方々も参加し、テープカットや通り初めにより盛大に開通を祝いました。



・京奈和自動車道は、京都、奈良、和歌山を結ぶ延長約120kmの高規格幹線道路であり、拠点都市間の時間短縮を図り、連携を強化することで一体的な近畿圏の形成に寄与する道路です。

・この度開通した紀北東道路は、紀の川市から伊都郡かつらぎ町間で、国道24号の交通混雑の緩和、安全性の向上、果樹農業や観光産業の支援など地域の発展への寄与を目的とした道路です。

・この度の開通により、橋本市から紀の川市の京奈和自動車道紀北東道路16.9kmが全線開通となり、既に開通している区間と併せ、奈良県五條市までが繋がりました。今後は、阪和自動車道と連結する紀北西道路12.2kmの全線開通に向けて、更に取り組んでいきます。



●FOODEX JAPAN 2014に和歌山県ブースが出演！

・3月4日から3月7日の4日間、幕張メッセ(千葉県千葉市)において、アジア最大級の食品・飲料の国際商談展示会“FOODEX JAPAN 2014(第39回国際食品・飲料展)”が開催されました。



・県は7年連続の出展となり、梅干、梅酒、梅関連製品、果実加工品、ごま豆腐、醤油、水産加工品、菓子などを取り扱う以下の県内21事業者が出展。古くから日本人の活力を支えてきた豊かな食材や機能性を持った食品が和歌山県ブースに集結しました。装飾コンセプトは「おいしい！健康わかやま」とし、2月に東京で開催されたスーパーマーケット・トレードショーの県ブースと統一装飾とすることで、両展示会に来場するバイヤーに共通のイメージで和歌山県をアピールしました。

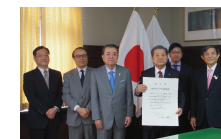
・また、会場での商談の効率や成功率をできるだけ高めることができるよう、県では出展業者と共に、生産者支援セミナーやフォローアップ調査など様々な取組を行ってきました。

・会場には4日間で、7万5千人以上が来場。県ブースも多くの来場者で賑わい、今後の販路拡大が期待できます。

事業者名	商品	事業者名	商品
梅光園ワルト商會(株)	梅干、梅ロールケーキ等	(株)伊藤農園	マーメイド、ゼリー、ピール等
マルヤマ食品(株)	梅干、梅関連製品	(株)早和果樹園	みかんジュース・ポン酢等
河本食品(株)	梅干、梅酒、梅関連商品	(株)酒のかまくら	紀州柑々屋みかん酒シリーズ等
(株)岩本食品	梅干、梅製品、梅スイーツ	中田食品(株)	紀州の梅酒各種
井上梅干食品(株)	りんご酢梅、梅肉ごま等	鈴木宗右衛門酒造(株)	日本酒「熊野古道」
(株)濱田	梅干、梅酒、梅関連商品	REI CAFE	はちみつ塩パン(ラクトアイス)
(株)丸惣	有機梅干、梅関連商品	お菓子工房桜和	バームクーヘン
J A紀の里	八朔缶詰、あんぼ柿等	(株)大覚総本舗	ごま豆腐、ごまスイーツ等
(株)柑香園	フルーツジャム・シロップ等	(株)角長	醤油
もりもとや	甘干し四郷柿	(株)松本のれん堂	冷凍まぐろメンチ、珍味等
(株)小南農園	柑橘ジュース、カレー、缶詰等		

●「和歌山県企業ソムリエ委員会」認定企業が決定！

・3月19日、次代の県経済をリードする企業を発掘・育成するために設置された「和歌山県企業ソムリエ委員会」(会長：島 正博 (株)島精機製作所代表取締役社長)による認定証授与式が開催されました。



・今年度の認定企業として決定された 株式会社 早和果樹園に島会長から認定証が授与され、仁坂知事からは記念品とともに、「今後も、ますます農業の活性化が重要。トップランナーとして、がんばって欲しい。」と期待の言葉が贈られました。



・認定企業の (株)早和果樹園(有田市：秋竹 新吾 代表取締役)は、昭和54年創業。有田みかんの中でも糖度12度以上の高級ブランド「味一みかん」にこだわって生産。さらに、素材を活かす方法で搾ったみかんジュース「味一しぼり」や、甘さ控えめのシロップで漬け込んだ「てまりみかん」等のみかん加工品を製造。これらを自社通販や百貨店、高級スーパーなどで販売し、みかん農業の6次産業化に成功しました。また、クラウドコンピューティングを利用した「ICT農業システム」でハイテクみかん栽培に取り組み、産業の標準化、若手社員へのノウハウ継承、コスト管理を実現し、利益を出す農業の実現を目指しています。商品のお求めなどは(株)早和果樹園のホームページから <http://sowakajuen.com/>

●株式会社山登化学が紀北橋本エコヒルズ「紀ノ光台用地」へ進出

・3月19日、株式会社山登化学(本社：大阪府柏原市)が紀北橋本エコヒルズ「紀ノ光台用地」へ進出することが決定し、橋本市役所において協定調印式が開催されました。

・同社は、昭和47年設立で、合成樹脂異形押出品を製造しており、デザイン設計から金型製作、押出成形、加工まで一貫して手がけています。電力、土木、住設、建材、産業機器、環境、医療等幅広く部材を供給し、「情報を採って仕事を創る」をモットーにユーザーと商品開発を積極的に行っています。また、特注製品が多く、取引先も大手優良企業を数多く確保しています。

・今回、生産能力増強のため、富田林工場を橋本市へ新築移転することとなりました。

・橋本市の工場の操業は平成28年8月に予定されており、県内新規地元雇用者5名が見込まれています。



●大和歯車製作株式会社が日高川町に和歌山第2工場を新設

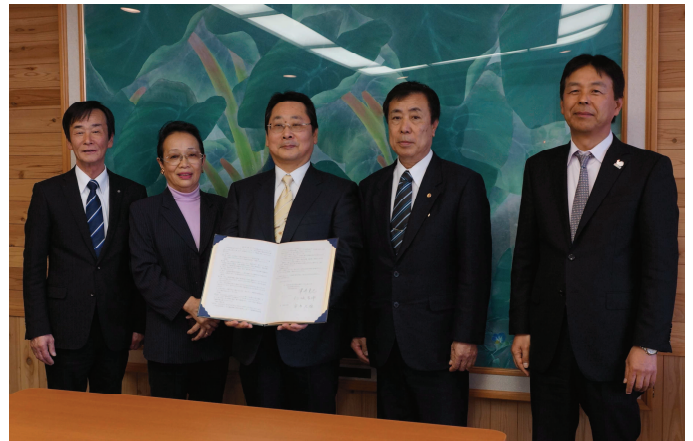
・3月25日、大和歯車製作株式会社(本社：大阪府東大阪市)が、既に日高川町にある和歌山工場の隣接地に第2工場を新設することが決定し、日高川町役場において協定調印式を開催しました。これで、平成18年12月以降の企業立地件数は、上記の山登化学と併せて124件となりました。

・同社は、昭和23年設立で、主に工作機械、一般産業機械、印刷機、発電機、船舶、鉄道、航空機など幅広い分野に使

われる高品質・高付加価値の精密歯車を製造しています。取引先は、国内メーカーを中心に100社を超え、保有する設備の多様さと高い技術力により、直径1cmから3.5mまで、世界でも類を見ない他品種の歯車生産を可能とし、各社からの信頼を得ているところです。また、平成25年度「がんばる中小企業・小規模事業者300社」(中小企業庁)にも選定されています。

・今回、新設される第2工場では、最先端の歯車研削盤及びNC旋盤等を導入し、焼き入れ研究施設も併設することで、今後成長が見込まれる航空機をはじめ鉄道、船舶を含めた3分野への本格参入を図り、事業拡大を進めていくこととなりました。

・第2工場の操業は平成27年2月に予定されており、新規雇用者13名が見込まれています。



●古墳時代の「クスノキ巨木」の除幕式を実施

・3月16日、和歌山市の県立紀伊風土記の丘において、平成23年9月の台風12号による大水害時に紀ノ川で発見されたクスノキの展示が始まり、除幕式を実施しました。このクスノキは、直径4m、周囲12mの巨木で推定樹齢は350年、古墳時代から奈良時代にかけて生育していたと考えられ、上記の台風の出水により紀ノ川に沈んでいたものが出現したものです。

・除幕式では、仁坂知事、紀伊風土記の丘 水田館長らが除幕し巨木が姿を現すと、集まった約120人の観衆から驚きの声と拍手がおこりました。

・紀伊風土記の丘は、古墳時代に築造された岩橋千塚古墳群にあるため、古墳時代に生育していたクスノキを展示するには最適です。今後も、県内の出土遺物の収集と展示を行うとともに、周辺の重要な古墳の保存を進め、紀伊風土記の丘の魅力向上を図っていきます。

HPはこちらから <http://www.kiifudoki.wakayama-c.ed.jp/>



●ジオパークフェスタ開催！

・3月23日、那智勝浦町体育文化会館において、南紀熊野ジオパーク推進協議会(会長：仁坂知事)及び近畿地方環境事務所の主催でジオパークフェスタを開催しました。このイベントは、ジオパークへの取組について、地域の理解促進とジオ活動の仲間の輪の拡大、特に民間活動の充実や地域関係者のネットワークづくりや、この一年の南紀熊野ジオパーク構想の取組を総決算し活動成果を一堂に集めることで、活動促進や連携強化のきっかけづくりとすることを目的に開催したものです。

・冒頭、仁坂知事は、「本日はこれまでのジオパークの取組の成果を発表し、今年度の日本ジオパーク認定、そして世界ジオパーク認定へと弾みをつけたい。」と挨拶しました。その後、日本ジオパーク委員会委員長であり、京都造形芸術大学学長の尾池和夫氏から「日本のジオパークがめざす方向」と題した基調講演をいただき、ジオパークは見る・食べる・学ぶがキーワードであることを紹介され、特に南紀熊野のジオパークは、海と陸が大地でつながっていることを念頭に、海底地形も重視すべきとのアドバイスもいただきました。

・このほか、「南紀熊野ジオパーク構想と地域づくり」と題したパネルディスカッションや、ジオ特産市ブースやジオパーク情報展示ブースなども開催し、地域の方々など約300人が参加する中、南紀熊野ジオパーク実現に向けた取組について、理解を深める1日となりました。



ジオパークとは、地質や地形を見所とする大地の公園で、貴重で美しい地質や地形を含めた自然遺産を保全するとともに、ジオツーリズムを通じて地球科学の普及や環境教育等を行い、さらにこれらの遺産を観光資源として活用しながら地域の活性化を目指すものです。今回認定を目指す紀南地域は、地球表面を覆う“プレート”が沈み込む場所で起きる地質現象のすべてを体感できるエリアであり、日本の地質構造100選の一つであるすさみ町口和深の大褶曲(だいしゅうきょく)など、貴重な地形地質を見ることができます。



●「紀の国わかやま大会」選手団サポートボランティア養成協力校に委嘱状を交付

・3月17日、紀の国わかやま大会（第15回全国障害者スポーツ大会）において活動する「選手団サポートボランティア」の養成に協力いただける県内医療・福祉系の大学・短期大学・専修学校14校に、仁坂知事が委嘱状を交付しました。



・選手団サポートボランティアは、紀の国わかやま大会に参加する選手をサポートする学生ボランティアで、大会期間（平成27年10月24日から10月26日）の前後を含む6日間選手と一緒に行動し、歓送迎・介助・誘導・交流等を行います。

・平成26年4月から平成27年9月の間、各養成協力校において、それぞれの障害の特性やサポート方法等について学生が学ぶ養成講座が順次実施される予定で、約1,200人の養成を目標としています。

○養成協力校

和歌山信愛女子短期大学	和歌山国際厚生学院
和歌山YMCA国際福祉専門学校	和歌山社会福祉専門学校
和歌山県歯科衛生士専門学校	和歌山赤十字看護専門学校
和歌山看護専門学校	和歌山市医師会看護専門学校
国保野上厚生総合病院附属看護専門学校	紀南看護専門学校
日高看護専門学校	県立医科大学
県立高等看護学院	県立なぎ看護学校

●紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会協賛企業に感謝状贈呈

・3月25日、紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会企業協賛制度におけるオフィシャルサプライヤーに新たに決定した団体・企業に、仁坂知事から感謝状を贈呈しました。

・各団体・企業から提供いただきました移動式ソーラーLED照明灯は、両大会の運営に活用させていただきます。

○協賛企業・団体

企業・団体名	提供内容	出席者
紀の国はまゆう ・近畿電設工業(株) ・弘安建設(株) ・NPO法人はまゆう和歌山 ・日本体育施設(株)	移動式ソーラーLED照明灯	紀三井寺公園管理事務所 中 公之 所長 岡 昇平 氏 日本体育施設(株) 奥 裕之 代表取締役
近畿電設工業(株)	移動式ソーラーLED照明灯	吉川 幸夫 代表取締役
弘安建設(株)	移動式ソーラーLED照明灯	池上 元一 代表取締役



●第86回選抜高校野球大会出場校壮行式開催！

・3月17日、第86回選抜高校野球大会に出場する、智辯学園和歌山高等学校(3年ぶり11回目)と県立海南高等学校(27年ぶり17回目)の健闘を祈念するため、県庁正面広場で壮行式を開催しました。和歌山県から2校が代表として出場するのは、平成22年の智辯和歌山高校、県立向陽高校の出場以来4年ぶりのことです。



・仁坂知事は、「和歌山県から2校出場し、壮行式を開催できることは幸せなこと。両校とも一戦一戦努力して勝ち上がり、決勝戦で両校を応援することが私の願いです。」と激励しました。

・智辯和歌山高校の 長 壺成 主将は、「今年のチームは、つながりのある打線と粘り強さが持ち味。去年の夏の悔しさをバネに精一杯戦います。」、海南高校の 矢須 健介 主将は、「県民の期待の大きさを感じている。感謝の気持ちを忘れず、全力プレーと全力疾走の野球をします。」と大会に向けての意気込みを語りました。

・大会は3月21日から12日間開催され、智辯和歌山高校は明德義塾高校(高知県)と、海南高校は池田高校(徳島県)とそれぞれ初戦で対戦し、両校とも最後まで勝負の行方がわからない熱戦の末、惜しくもサヨナラ負けとなりましたが、ひたむきにプレーする姿は感動を与えました。

●Wakayama Swim Team が短水路日本新記録樹立！！

・3月17日、水泳競技の男子200mフリーレーで短水路日本新記録を樹立した「Wakayama Swim Team」の4選手と 小島 毅 監督が仁坂知事を表敬訪問しました。



・第70回国民体育大会特別強化選手で編成されたこのチームは、2月23日に秋葉山公園県民水泳場において開催された第26回和歌山地域AA級大会で、1チーム4人がそれぞれ自由な泳法で50mずつ泳ぐ同種目において1分27秒26をマークし、平成23年1月8日に自衛隊体育学校が記録した1分27秒98を3年ぶりに更新しました。

・主将の 名倉 和希 選手は、「和歌山県のジュニア選手やコーチの前で日本新記録を出せたことはとても刺激になり、来年の紀の国わかやま国体に向けて良い弾みになった。これに満足せず、更なる強化を進めていきたい。」と力強く語り、仁坂知事は、「日本新記録樹立おめでとうございます。来年の国体での活躍を大いに期待しています。」と激励しました。

・紀の国わかやま国体に向けて、今後も競技力の向上に努めていきます。

○Wakayama Swim Team

	氏名	所属		氏名	所属
第1泳者	平 拓也	ゆうゆうスポーツクラブ 海南	第3泳者	下田 瑛	パルポートワカヤマ
第2泳者	名倉和希	県教育庁	第4泳者	兵頭洋樹	県立向陽高等学校

●紀の国わかやま国体「水泳(飛込・シンクロ)事務所」「ボート競技事務所」を開設

- ・4月1日、紀の国わかやま国体の県外競技の準備業務を本格化させるため、「水泳(飛込・シンクロ)競技事務所」を門真市に、「ボート競技事務所」を大津市に開設しました。今後、競技会場の整備やボランティアの募集など、現地業務にあたります。
- ・5月1日には、クレー射撃事務所についても神奈川県伊勢原市に開設予定です。



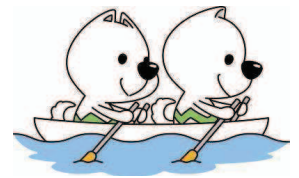
○水泳(飛込・シンクロ)競技事務所

名 称：紀の国わかやま国体 水泳(飛込・シンクロ)競技事務所
 場 所：なみはやドーム内会議室(門真市三ツ島3-7-16)
 競技会場：大阪府立門真スポーツセンター(なみはやドーム)
 設置期間：平成26年4月1日～平成27年11月30日(予定)



○ボート競技事務所

名 称：紀の国わかやま国体 ボート競技事務所
 場 所：大津市大江2丁目9-2 大江会館
 競技会場：滋賀県立琵琶湖漕艇場
 設置期間：平成26年4月1日～平成27年11月30日(予定)



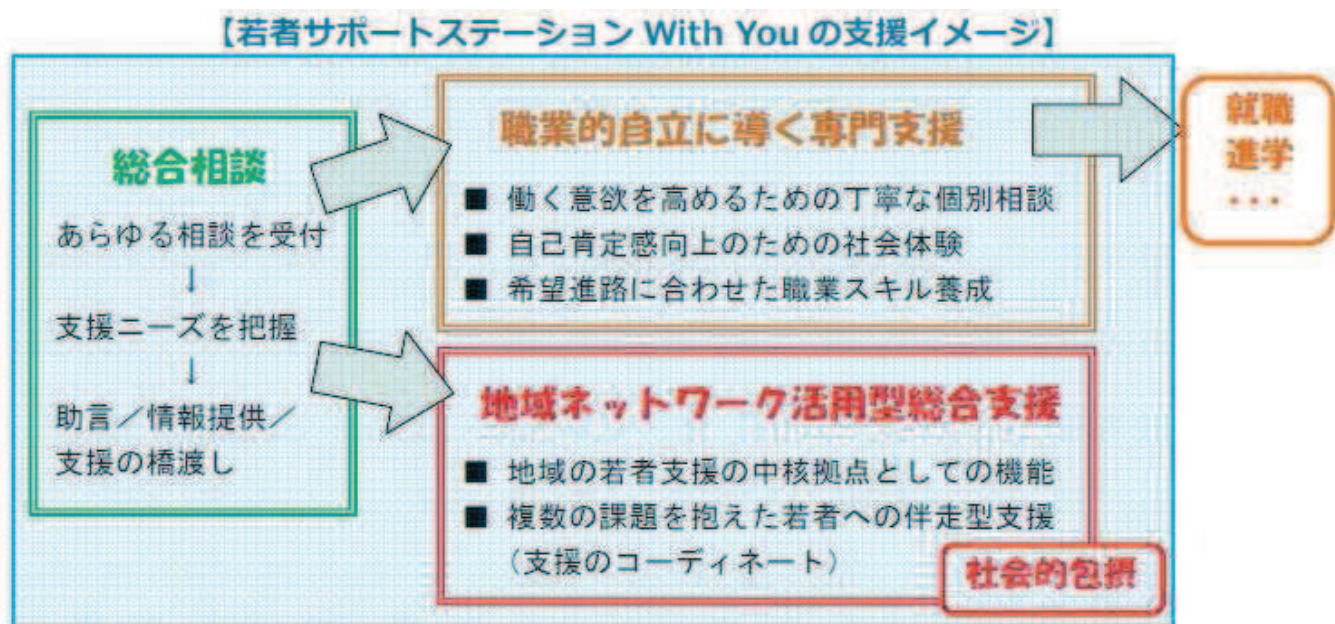
●県立医科大学附属病院(東棟)竣工式開催

- ・3月29日、がん治療を中心とした先進的な診療設備の充実や、県内医療機関の従事者を育成するなどの機能を持つ「地域医療支援センター」が設置された県立医科大学附属病院(東棟)の竣工式が開かれました。冒頭、県立医科大学の板倉徹理事長が、「地域医療のさらなる向上が図られ、県民の期待に応えていきたい。」と挨拶し、仁坂知事は、「地域医療や県民の健康を守るために活動してください。」と期待を込めました。
- ・この東棟には、血管内治療と外科手術とを組み合わせ、治療をより安全で迅速に行える「ハイブリッド手術室」、モニターを通して患者の診察や若手医師への助言等を行う「遠隔医療システム」も導入されています。東棟の完成により、手術室が12室から19室に、内視鏡検査・治療室が5室から9室となり、今後、手術待ち患者の解消など、医療提供体制のさらなる充実が期待されます。



●「若者サポートステーション With You」が始動します

- ・県では、平成22年に「若者総合相談窓口 With You(ウィズ・ユー)」を県庁内に開設し、若者のあらゆる相談に対応してきました。また、国及び県からの委託により、無業の若者の職業的自立を支援するため、地域和歌山サポートステーションを運営してきました。
- ・4月からは、県内3か所の地域若者サポートステーションに若者総合相談窓口を併設し、「若者サポートステーション With You」として、県独自の総合的な若者支援に取り組んでいます。これにより、より身近な地域で対面型であらゆる相談に対応できるほか、無業の職業的自立支援もより効果的に実施できるようになります。



相談電話受付時間：平日 10:00～17:00（祝日・年末年始等を除く）
 ホームページ（メール相談）：<http://with-you-wakayama.jp/>（4月1日更新予定）

【若者サポートステーション With You わかやま】 TEL：073-428-0874 おはなし
 ・所在地：和歌山市本町2-40 聖一ソレイユビル4階（本町2丁目バス停下車すぐ）
 ・所管区域：和歌山市、海南市、海草郡、有田市、有田郡、御坊市、みなへ町以外の日高郡

【若者サポートステーション With You きのかわ】 TEL：0736-32-0874 おはなし
 ・所在地：橋本市市脇1-1-6 JA橋本支店ビル2階（JR・南海橋本駅徒歩約15分）
 ・所管区域：橋本市、伊都郡、紀の川市、岩出市

【若者サポートステーション With You 南 紀】 TEL：0739-24-0874 おはなし
 ・所在地：田辺市高雄1-23-1 市民総合センター北館（JR紀伊田辺駅徒歩約10分）
 ・所管区域：田辺市、西牟婁郡、日高郡みなへ町、新宮市、東牟婁郡

●入札制度を見直しました

・県では、4月から、より円滑に入札を執行するため、受発注者の負担軽減や技術者不足対策など制度の簡素化を図っています。同時に、更なる品質の確保も図っています。また、県経済の成長力底上げと、持続的な経済成長に資するため補正予算の早期執行を行います。

○入札制度の見直し

建設工事
受発注者の負担軽減
<電子入札の全面導入> ・すべての建設工事で電子入札を導入し、応札者及び発注者の負担軽減と事務を効率化 <予定価格5億円以上の工事における配置予定技術者の取扱い> ・予定価格5億円以上の工事契約締結には議会の承認が必要となるため、配置予定技術者の拘束を入札時から契約時に変更し、企業の負担を軽減
技術者不足対策
<総合評価落札方式において現場代理人としての工事成績評定を評価> ・主任(監理)技術者としての工事成績評定がない場合であっても、現場代理人としての工事成績評定を評価することで、実績のない若手技術者を育成 <主任技術者の専任に係る取扱い> ・工事現場相互の距離が10km程度以内の工事2件まで兼任可能とし、建設業者の負担を軽減 <工期に余裕がある工事に対してフレックス工期の導入による配置技術者要件の緩和> ・工事開始日まで技術者の配置が不要となり、受注者の計画的な準備が可能
建設工事の更なる品質確保
<土木一式Bランク工事に総合評価落札方式を試行(1年間)> ・同工事の2割程度に総合評価落札方式を試行し、一層の品質を確保
消費税増税に伴う対応(建設工事に係る委託業務も併せて変更)
<発注基準額の見直し> ・各業者ランクにおける発注基準額が消費税込みであったため、消費税増税に伴い発注基準額が実質的に縮小しないよう消費税抜きの金額に変更し、工事規模を確保
建設工事に係る委託業務
業務の品質確保
<主任技術者になれる資格の追加> 土木関係コンサルタント業務 ・土木学会認定技術者、(業務内容と同じ)コンクリート診断士、土木鋼構造診断士等を追加、総合評価落札方式における「配置予定技術者の保有資格」でも評価することで、専門的な知識を有する技術者を活用し、品質の向上を図る 地質調査業務 ・地質調査技士を追加することで、専門的な知識を有する技術者を活用し、品質の向上を図る <地質調査業務の入札参加要件の改定> ・発注基準額500万円以上の業務に地質調査業の登録要件を追加することで、技術力を有する企業に委託し、品質の向上を図る
○「好循環実現のための経済対策」の早期実行
県土整備部における目標
<国内示(平成26年6月)による事業費約94億円> ・6月末 7割(約66億円)契約 ・9月末 9割(約85億円)契約

イベント情報(4月11日～5月10日)

期間	行事名	場所	問い合わせ先
4/13	隅田八幡神社講社祭	橋本市・隅田八幡神社	隅田八幡神社 0736-32-0188
4/13～ 4/15	熊野本宮大社例大祭	田辺市・熊野本宮大社	熊野本宮大社 0735-42-0009
4/14	桜花祭	那智勝浦町・熊野那智大社	熊野那智大社 0735-55-0321
4/20	花盛祭と渡御	かつらぎ町・ 丹生都比売神社	丹生都比売神社 0736-26-0102
4/20	La Festa Primavera 2014	和歌山市・ 和歌山城砂の丸広場ほか	和歌山市観光課 073-435-1234
4/20 4/21	高山寺春まつり	田辺市・高山寺	高山寺 0739-22-0274
4/21	奥之院万燈会	高野町・奥の院	金剛峯寺 0736-56-2011
4/25～ 4/29	ゆあさ行灯アート展	湯浅町・ 伝統的建造物群保存地区	グリーンソサエティ 0737-63-0401
4/27	道成寺鐘供養会式	日高川町・道成寺	日高川町企画政策課 0738-22-2041
4/29	上阿田木神社の春まつり	日高川町・上阿田木神社	日高川町企画政策課 0738-22-2041
4/29	生石高原山開き	紀美野町、有田川町 ・生石高原	紀美野町産業課 073-489-2430 有田川町商工観光課 0737-52-2111
4/29	奉納相撲	橋本市・隅田八幡神社	隅田八幡神社 0736-32-0188
4/29	七越祭り	田辺市・七越神社	熊野本宮観光協会 0735-42-0735
5/3	海開き	白浜町・白良浜海水浴場	白浜観光協会 0739-43-5511
5/3	船玉神社祭	田辺市・船玉神社	熊野本宮観光協会 0735-42-0735
5/4 5/5	真田まつり武者行列	九度山町・入郷	真田祭実行委員会 0736-54-2019
5/5	御田植神事	田辺市・稻荷神社	田辺市観光協会 0739-26-9929
5/6	御供茶式	新宮市・佐藤春夫記念館	佐藤春夫記念館 0735-21-1755



花盛祭は、丹生都比売神社境内とその周辺において、春の訪れを祝う(冬が終わり、花が咲き、暖かな春の訪れを喜び、万物の成長を願う)ため、行われます。

自然・風物情報(4月中旬～5月上旬)

時期	自然・風物名	場所	問い合わせ先
4月中旬	水芭蕉見ごろ	田辺市・中辺路町近露	中辺路観光協会 0739-64-1470
4月中旬	若鮎の遡上はじまる	県内各河川	県内水面漁協連合会 073-423-7853
4月中旬	バラの見ごろ	和歌山市・四季の郷公園	四季の郷公園 073-478-0070
4月下旬	「秀衡桜」満開	那智勝浦町・熊野那智大社	熊野那智大社 0735-55-0321
4月下旬	ボタン見ごろ	和歌山市・和歌山城	和歌山城管理事務所 073-435-1044
		九度山町・真田庵周辺	九度山町観光協会 0736-54-2019
4月下旬	ツツジ満開	和歌山市・四季の郷公園	四季の郷公園 073-478-0070
4月下旬	県庁にこいのぼり	和歌山市・県庁	県子ども未来課 073-441-2492
4月下旬	藤見ごろ	橋本市・子安地藏寺	子安地藏寺 0736-32-1774
		日高川町・藤棚ロード	日高川町まちみらい課 0738-22-2041
4月下旬	一足早く田植え始まる	那智勝浦町	那智勝浦町観光産業課 0735-52-2131
4月下旬	シャガの花見ごろ	田辺市本宮町、中辺路町 ・那智勝浦町	熊野本宮観光協会 0735-42-0735
5月上旬	アユ釣りが解禁	県内各河川 (地域により解禁日設定)	県内水面漁協連合会 073-423-7853
5月上旬	シャクナゲ見ごろ	高野町・高野山金剛三昧院	金剛三昧院 0736-56-3838
			護摩壇山森林公園 0739-79-0667
5月上旬	あやめ満開	日高川町・あやめ公園	日高川町まちみらい課 0738-22-2041
5月上旬	古代米の田植え	橋本市・杉尾地区	杉尾古代米の会 0736-37-5055
5月上旬	ラベンダー咲き誇る	上富田町・富田川河川敷	上富田町役場 0739-47-0550



秀衡桜は、平安時代末期、奥州の藤原秀衡が熊野詣をした際、途中に残してきた我が子の無事を祈念して、ヒノキの株にこのヤマザクラを継いだといわれています。

～編集後記～

県内各地から桜の便りが届く中、新年度がスタートしました。皆さんも、それぞれの地でそれぞれの思いを胸に、きれいな桜を御覧になったのではないのでしょうか。

私も、先日、昼休みに和歌山城公園の満開の桜の下を歩きましたが、毎年のことながら心が癒されるとともに、新たな年度を迎えたこと実感し、気持ちが引き締まる思いがいたします。和歌山だよりを担当させていただいて3年目を迎えることとなりましたが、初心を忘れることなく、旬の情報をわかりやすくお届けいたしますので、引き続きよろしく願いいたします。また、県人会等では、皆さんにお目にかかる日を楽しみにしています。

県では、新規採用職員105人が入庁しました。新規採用職員には、知事からの訓話にもありましたが、本当に県民の皆さんの幸せに繋がることは何なのかを常に念頭に置き、自らの目と耳で色々なことを吸収し、また、健康にも十分気をつけながら職務に当たってもらいたいと思います。入庁30年以上になる私も、改めて肝に銘じておきたいと思います。

さて、今月号では、3路線の開通式、水泳での日本新記録樹立、医大東棟の竣工式、選抜高校野球の県代表校出場と、明るい話題を数多くお届けすることができました。特に、選抜高校野球は3年ぶりに本県からの出場、さらには2校同時出場ということで大いに盛り上がりました。多くの応援団が甲子園球場の観客席を埋め尽くし、また、テレビにかじりついて応援した人も多かったと思います。残念ながら後一步というところで両校とも勝利を逃しましたが、「野球王国和歌山」復活を思わせる健闘ぶりに、夏が楽しみになりました。今年度も、こうした明るい話題を数多く御紹介して参りますので、楽しみにしておいてください。

すがすがしく過ごしやすい季節となりました。外出するには最適ですが、夜にはまだ少し肌寒さを感じることもありますので、気温の変化にはくれぐれもお気をつけください。

知事室秘書課長 森田 康友

★「和歌山だより」Web版を和歌山県ホームページにアップしています。Web版ならではの美しい画面を楽しんで頂けますので是非ご覧下さい。

和歌山だよりに対するご意見・ご感想をお聞かせ下さい。また、皆様がお持ちの和歌山に関する情報をご提供下さい。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。

(下記のFAX(様式自由)、E-Mail等でお願ひします。)

■FAX 073-422-4032

■E-mail e0001003@pref.wakayama.lg.jp

和歌山県のホームページ

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/>

ふるさと和歌山応援サイト <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/furusato/>

*個人情報につきましては、「和歌山だより」の発行以外の目的には、使用いたしません。



2014年(平成26年)4月 NO.72

和歌山県 秘書課

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1

TEL 073-441-2022